

中城跡(比企郡小川町)

なかじょうあと

正面後方の小山が中城跡



ここを進むと中城跡へ行けるらしい



標柱には「仙覚律師遺跡(中城跡)入口」とある



しかし、そこからではなく裏手に回り、反対側(北側)から登ってみることにした



ここからも行けるようになっている/ここは北側の小口らしい



小口を登る



左手の斜面



右手の斜面



土塁のような大きな高まりが見えてきた



左手を見ると明らかに横堀跡と土塁(右手)である/土塁には正面に郭内への小口状箇所があった



右手を見る



さて、土塁の小口状箇所を登り切るとそこが郭内/土塁が右手から前方で左手に折れて続いているのが見てとれる



さまざまな記念碑が立っている/前方のフェンスの向こうも本郭跡で、現在は削られてテニスコートになってしまっている



左手に目をやるとこちらも土塁が右にカーブしながら続いている





仙覚せんかく律師りつし遺跡いせき

所在地 比企郡小川町大字大塚

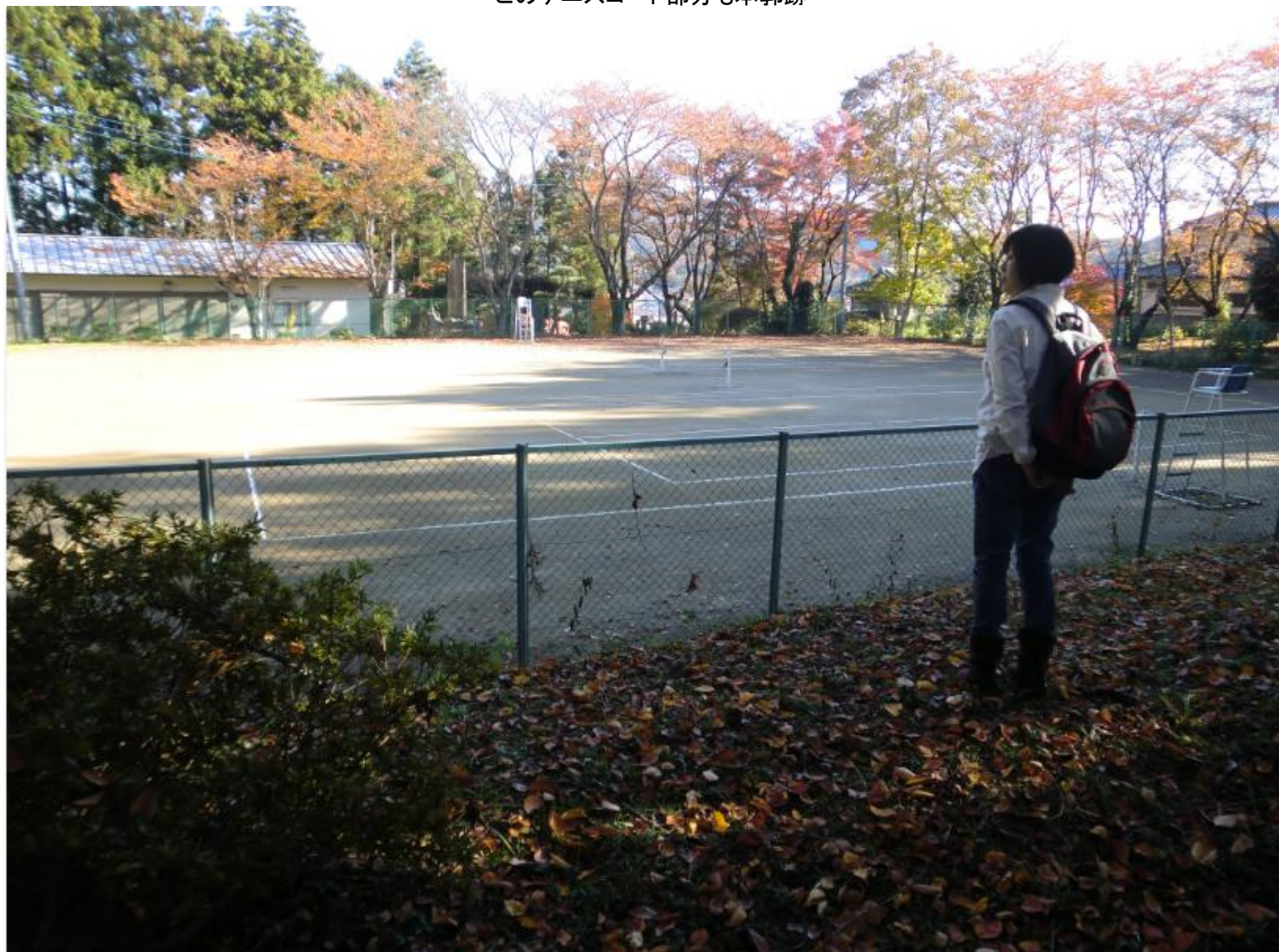
仙覚は、鎌倉時代の僧侶（天台宗）で、建仁三年（一二〇三）常陸国（茨城県）に生まれたが、没年は不明である。

万葉学者として知られる仙覚は、万葉集解読に半生を捧げた人で、彼の著作した「万葉集註釈」は、以後の万葉集研究の基礎をなしているといわれている。この奥書には「武蔵国比企郡北方の麻師宇郷の政所」と記されており、当地に仮宿し、まとめたものと推定されている。この地域は、付近をとりまく土塁、空掘跡、櫓の跡から、中世の土豪、猿尾氏の居城で中城跡といわれている。なお、この記念碑は、昭和三年に仙覚律師遺跡保存会により建てられたものである。

昭和五十九年三月

埼玉
小川町

このテニスコート部分も本郭跡





テニスコートの西側を見る/この前方のところが最初の標柱があったところを進むと辿り着くところ



これはテニスコートの西側に建っている御堂/檜台跡とされる



半僧坊大権現を祀った御堂らしい



振り返って見る



御堂の裏手で右手の土塁の向こうに郭内を見る



御堂の裏手で北方向を見たところ/横堀跡がクランク状に周っている/右手が郭内



櫓台跡(左手)と西方向へ延びる横堀跡



もう一度北方向を見る/横堀跡を挟んで二重土塁になっているのが見てとれる/手前には郭内からの小口の部分に階段が設けられている



小口/郭内から見る



右手が郭内/土塁の左手は横堀跡



土塁と郭内



振り返って郭内と土塁を見る/御堂が建っている部分は櫓台跡/その手前に小口がある



土塁上から前方の櫓台跡と横堀跡が右手に回り込んでいるのを見る



土塁上から横堀跡の向こうにもう一つの土塁(二重土塁)を見る



左手を見る



横堀跡に下りて二重土塁を見る/左手が郭内



前方に櫓台跡を見る



二重土塁の外側の土塁の上から右手に櫓台を見る/左手の土塁の向こうが郭内



振り返って二重土塁を見る/右手が郭内



その先はこんな感じ/左手は斜面となって北側に下っている





横堀跡から内側の土塁を見上げる



もう一度、土塁の上に登って右手に郭内、左手に横堀跡を見る



土塁の上をそのまま進んでみる



ここにも小口状のところがある



仙覚律師にちなんで万葉の句が多数紹介されている



蛙(36)鳴く神なび川に影見えて
今か咲くらむ山吹の花

卷八 一四三五 厚見王



秋の金蔵川(下古寺)

概川の上流や
支流の金蔵川
では今ではめ
ずらしいカワ
ズの鳴声を聞
くことができ
ハコネサンシ
ヨウウオなど
の溪流動物が
生息していま

〔大意〕
カジカが鳴くあの神なび川の清流には、その影を映して、もう山吹の花が咲き始めただろうか。
〔解説〕
「かげ見えて」「今か咲くらむ」という表現を「本歌取り」とした歌が後世、幾つも生まれました。

その小口を横堀跡から見たところ



横堀跡は東の方向に続いている



振り返って見る



そのまま進んで最初の場所へ戻る





最初に登ってきた小口を下りて北側へ出る



斜面を下りたところはこんな状態/水堀跡のような雰囲気



振り返ってみる/ここは陣屋沼縁地というようだ



さて、ここは最初の標柱があった路地を進んで登ると辿り着くところ/ここの標柱にも「仙覚律師遺跡(中城跡)入口」とある



ここにも万葉の歌碑がある



月草(ツキクサ)に衣(ウ)は摺(ス)らむ朝露(アサツユ)に濡(ヌ)れての後(ノチ)はうつろひぬとも

卷七 一三五 作者未詳

〔大意〕

露草で衣を摺り染めにしよう。朝露に濡れて色があせてしまっても、ままよ。

〔解説〕

浮気な男だけど、求婚を受け入れようかという女心の響えです。



露草 (高谷)

町のどこにでも見られる露草。藍色は古代より布の摺り染めに使われ、露草色としてみまされた。

「御嶽神社建設記念石」とある



さまざまな石碑が立っている



「摩利支天宮」とある



前方が北側の土塁方向



左手が檜台跡の高まり/前方には土塁が見える



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/035naka/naka.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/ogawasai.htm#naka>

http://www.f2.dion.ne.jp/~fumie.h/houjoh/siro/s_ogawa.html

<http://keny72.blog.fc2.com/blog-entry-679.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/s04hi992ma/25469107.html>

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/joukan-saitama/naka-jou-ogawa-2007-03-04/naka-jou-ogawa-2007-03-04.html>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitama.ogawa.html>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/ogawa-naka-joyo/>

